

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	おひさま児童園	所在地	伊勢市御園町長屋2767ハートプラザみその1階
指定管理者名	NPO法人南勢子どもの発達支援センターえがお	指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童福祉法に基づく児童発達支援及び放課後等デイサービスの運営		
業務内容	・児童発達支援に関すること ・放課後等デイサービスに関すること ・管理業務棟報告に関すること		
施設概要	施設面積:551.39㎡、施設内容:鉄筋コンクリート造 事務室、訓練室、療育室、倉庫、トイレ等		
職員体制	管理者1人(兼務)、児童発達支援管理責任者2人(1名兼務) 療育・訓練担当職員14人、事務職員1人		
施設所管課名	こども発達支援室		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)
事業収支	収入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	59,365,530	51,282,330	△ 1,424,112
		その他	0	0	0
		計(a)	59,365,530	51,282,330	△ 1,424,112
	支出	人件費	40,846,409	40,896,554	△ 1,521,701
		管理運営費	3,189,604	2,843,276	212,728
		その他	0	0	0
		計(b)	44,036,013	43,739,830	△ 1,308,973
	収支差引額(a)-(b)		15,329,517	7,542,500	△ 2,932,059

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	感染症の流行によるキャンセルや利用者都合による取消などにより、放課後等デイサービス利用者数の減少が多かったが、児童発達支援は利用者数の微増となった。全体としては利用料収益はマイナスとなったが、前期に比べて押さえられた。また、昨年度は、理事長がおひさま児童園児発管として勤務しており、その分の報酬支出があったことと職員増による増額があり、今年度の人件費は、職員増があったものの、減額となった。そのため、収支差引額は、昨年度に比べて大きな減額となった。
----------------------------------	--

3 評価（様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
事業計画書に従った管理を行い、目標人数に到達する療育支援を行なうことができた。 保護者のニーズや相談支援を充実させ、必要に応じて関係機関と連携を取りながらすすめられた。 虐待防止・身体拘束適正化委員会、感染予防、衛生委員会において確認と対応を随時行いながらすすめていくことができた。また、ヒヤリハット報告からの虐待防止につながるまでの研修や指導を丁寧に行なえるように記録シートの改善を行い、随時、支援や方向性を考えて職員と共有・スキルアップを図れた。 児発管のOJT研修も行い、キャリアアップにつなげることもできた。 報酬改訂に伴う新たな視点や支援計画作成についても来年度につながる研修計画や連携会議も着手できた。	施設の運営については適正に行われていた。 利用者数については、R4年度と比較すると児童発達支援では増加、放課後等デイサービスでは減少したが、当初の目標を上回る利用者となり、感染予防対策を行いながら、目標を達成している。 また運営においては、適切に行われており、利用者からの苦情等もなく評価できる 児童発達支援・放課後等デイサービスに対する市民ニーズは高く、事業所の確保は必要不可欠であるため、引き続き、感染予防対策に努めつつ、訓練・療育を実施されたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		おひさま児童園		
評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設定目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設定目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、発達支援の必要な児童に対し、個別療育と機能訓練が連携しながら支援を行えた。	A	R4年度と比較すると児童発達支援は増加、放課後等デイサービスは減少したが、施設の利用状況、管理状況から施設の設定目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	コロナ及び他の感染症等の流行に伴い、利用者によるキャンセル数が多かった月があるが、当初の計画に挙げた目標人数は達成できた。	A	年間利用者については、R4年度と比較すると減少したが、目標数を上回る利用者があった。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書通りの共用日数・時間を達成した。	A	事業計画書に計画された運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	理学療法士に関しては、常勤設置はできなかったが、言語聴覚士2名の常勤配置と1名の非常勤配置は行うことができ、連携しながらすすめることができた。	A	事業計画書どおりの職員配置が行われた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書にうたわれた毎月の業務報告、毎月の業務打ち合わせを通じて意思疎通を行った。	A	事業計画書どおりの毎月の報告、毎月の打ち合わせを行うことができた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録・修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	地域住民との交流の取り組みはできなかった。関係機関との連携を密に行ったものの地域の振興まで至らなかったと思われる。	B	コロナへの意識も5類への移行により変わったことから、地域や地域住民との交流・連携について可能な範囲で取り組まれたい。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		—		—
	⑩利用料金等の徴取状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿はもれなく作成を行った。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取り扱いについては、基本的に随時、確認と配慮を行っている。また、新規職員についても周知を行った。	A	個人情報漏洩などの問題は発生していない。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	児童福祉法に規定する児童発達支援・放課後等デイサービスの運営基準を順守し、運営を行った。職員にもスタッフ会議で周知を行った。	A	運営基準を順守し、適正に運営が行われた。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 おひさま児童園			
		評価		市	
		指定管理者	市	判定	評価理由
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	ホームページやパンフレット等にて、施設についての周知を行った。初回相談や担当者会議等でも丁寧な説明と紹介を行った。相談支援事業所への周知を行った。	A	目標数を上回る利用者があった。
	②利用者の平等な利用	A	児童福祉法に規定する児童発達支援・放課後等デイサービスの各ガイドラインを遵守し、運営を行った。必要に応じて適切に児発管が対処できた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	ホームページやパンフレット等にて、施設についての周知を図った。	A	関係機関を中心として、周知はされている。
	④非常時・緊急時の対応	A	施設全体(ハートブラザみその)の避難訓練に参加し、緊急時の対応について確認を行った。避難訓練・避難図の掲示も行い、災害対応についての避難場所の案内文も利用者に配布済みである。また、不審者等の事業所独自の訓練も行い、掲示板に貼ったり通信に載せたりして利用者にも周知している。	A	引き続き、施設全体の管理者とも連携し、緊急時の対応について、確認されたい。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情については、減少傾向にあり、適切に処理できている。	A	利用者からの苦情等は特になかった。
	⑥自主事業		—		—
	⑦事業の評価	A	業務報告書を作成、それを元に反省・提案・見直しを行い、次年度につなげている。また、今回の評価も利用し伊勢市とも協議を行い、次年度へつなげていく。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、今回の評価を利用して、伊勢市とも協議が行われ、改善を行っている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検、機能確認、美観確認を行い、記録にまとめている。また、随時ハートブラザみそのや発達支援室、法人本部に報告と情報共有を行っている。	A	施設全体の管理者とも情報共有し、定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	備品については丁寧な扱いを心がけ、随時細やかに確認を行い破損・紛失がないことの確認もできた。さらに大型遊具の確認シートも作成し、随時の確認と半期に1度の報告を行なうようにした。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	異常があった場合は、機器にあった対応を行い、随時ハートブラザみそのや発達支援室、法人本部に報告と情報共有・指示に応じ、処理を行っている。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	事前に予定を立てて担当者の予定指示に従って年2回の清掃を行った。また、環境に応じた清掃により清潔と景観を保てるようにした。毎朝の掃除と毎昼の清掃消毒等を励行している。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	個人情報の書類等は施錠できる棚に保管している。セコムにより防犯対策と常時カメラ撮影を行っている。また、各療育室のカメラ設置により、防犯及び虐待防止の対策を講じている。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。